様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	浦和大学
設置者名	学校法人九里学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
こども学部	こども学科	夜・通信		3	49	52	13	
	学校教育学科	夜・通信			40	43	13	
総合福祉学部	総合福祉学科	夜・通信			83	83	13	
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.urawa.ac.jp/about/jitsumu.html>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	浦和大学
設置者名	学校法人九里学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.urawa.ac.jp/about/pdf/j_2017_jigyoku.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前職：社会福祉法人副会長兼常務理事	平成29年4月1日 ～ 令和3年3月31日	法人全体の運営及び管理統制
非常勤	現職：有限会社取締役副社長兼総務部長	平成29年4月1日 ～ 令和3年3月31日	法人全体の運営及び管理統制
非常勤	現職：地方銀行監査役	平成29年4月1日 ～ 令和3年3月31日	法人全体の運営及び管理統制
非常勤	現職：株式会社監査役	平成29年4月1日 ～ 令和3年3月31日	法人全体の運営及び管理統制
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	浦和大学
設置者名	学校法人九里学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・授業計画(シラバス)の作成過程 すべての授業科目について、担当教員はシラバス記載要領に従ってシラバスを作成し、指定の期日までに教務課に提出する。シラバス記載要領では、①授業の方法及び内容、②授業スケジュール、③到達目標、④成績評価の方法・基準、⑤実務経験の有無などを、記載することになっている。提出されたシラバスは、記載要領に従って正しく記載されているかが教務委員によってチェックされ、必要に応じて修正され、完成となる。 ・授業計画の作成・公表時期 各年度のシラバスは前年度内に作成され、各年度初めのオリエンテーションの時期に学生に配布され、公表される。	
授業計画書の公表方法	http://www.urawa.ac.jp/urawa-info/wp-content/uploads/2019/04/2019_kodomo_a.pdf http://www.urawa.ac.jp/urawa-info/wp-content/uploads/2019/04/2019_sougou.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況 単位の授与又は履修の認定については、各教員は、あらかじめシラバスの成績評価の欄に記載した方法・基準に従い、①学修意欲の把握、②試験やレポート、③卒業論文などによって、各学生の学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位授与又は履修認定をしている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・GPA等の客観的な指標の具体的な内容 S(90点以上)=4.0、A(80点以上~90点未満)=3.0、B(70点以上~80点未満)=2.0、C(60点以上~70点未満)=1.0として、$GPA = (4.0 \times S \text{の修得単位数} + 3.0 \times A \text{の修得単位数} + 2.0 \times B \text{の修得単位数} + 1.0 \times C \text{の修得単位数}) \div \text{総履修登録単位数}$、で算出する(小数点第3位を四捨五入)。 ・客観的な指標の適切な実施状況 GPAは上記方法により算出され、各学生のGPAは成績通知書に記載され、学生・保護者に知らされている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.urawa.ac.jp/urawa-info/wp-content/uploads/2019/04/2019_4_sh.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・卒業の認定に関する方針の具体的な内容 こども学部 (こども学科) : ①人間、社会、自然の各分野に関する基礎的な知識と現代社会に対応した情報リテラシーを身につけるとともに、こどもに関する専門的知識を習得し、専門分野を生かした将来の職業生活に対して明確な目的意識を持って努力し、協調性ある社会人となる自覚を形成していること。 ②こどもの最善の利益を尊重する視点に立ち、こどもの心身や言動から発せられる表現を、先入観にとらわれることなく感受できる自由な心を有し、個々のこどもたちに信頼を育むよう態度を形成していること。 ③こどもの文化に関する基礎的な知識を習得し、保育、福祉、幼児教育の実践において役立つ多様な技能・技術を身につけ、それをこどもたちへの関わりに活かせるよう実践的学習を積んでいること。 ④家族、地域社会、そして現代社会との関係で、こどもを理解する視点を養い、幅広い人々の参加を促しながら地域社会の創造を促す重要性和、そのための実践のあり方について考え、判断し、基礎的なことがらを理解しようとしていること。 こども学部 (学校教育学科) : ①人間・社会・自然の各分野に関する基礎的な知識と現代社会に対応した情報リテラシーを身につけるとともに、こどもに関する専門的知識を習得し、専門分野を生かした将来の職業生活に対して明確な目的意識を持って努力し、協調性ある社会人となる自覚を形成していること。 ②こどもの最善の利益を尊重する視点に立ち、こどもの心身や言動から発せられる表現・問いを先入観にとらわれることなく感受できる自由な心を有し、個々のこどもたちに信頼を育むよう態度を形成していること。 ③こどもの文化に関する基礎的な知識を習得し、小学校教育の実践において役立つ多様な技能・技術を身につけ、それをこどもたちへの関わりに活かせるよう実践的学習を積んでいること。 ④学校、家族、地域社会、そして現代社会との関係で、こどもを理解する視点を養い、幅広い人々の参加を促しながら地域社会の創造を促す重要性和、そのための実践のあり方について考え、判断し、基礎的なことがらを理解しようとしていること。 総合福祉学部 : ①人間や社会などに対する幅広い知識や理解とともに、コミュニケーション能力や情報処理等々の汎用的能力を持ち、利用者の多様な福祉ニーズに応えられる能力を修得していること。 ②福祉の専門的知識及び援助技術を中心として、健康・運動分野、心理分野、経営・情報分野、にわたる幅広い知識を修得し、それらをマネジメントする能力を培い、総合的・包括的な福祉支援の実力を身につけていること。 ③深い人間愛と強い使命感をもって福祉施設や地域社会で活躍することを通じて、福祉社会の充実と、福祉の利用者を含めたすべての人々がその個性に基づき共に創造する福祉の実践に、持続的に寄与できること。 ・卒業の認定に関する方針の適切な実施状況 卒業の認定に関する方針に踏まえ、教育課程が編成され各科目群に卒業必要単位数が割り振られている。よって、学生は各科目群の卒業必要単位数をすべて修得することで卒業候補者となり、教授会の審議を経て、卒業が認定される。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.urawa.ac.jp/about/policy.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	浦和大学
設置者名	学校法人九里学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.urajitsu.ed.jp/hyouka/zaimu_2018.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.urajitsu.ed.jp/hyouka/zaimu_2018.pdf
財産目録	http://www.urajitsu.ed.jp/hyouka/zaimu_2018.pdf
事業報告書	http://www.urajitsu.ed.jp/hyouka/zaimu_2018.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.urajitsu.ed.jp/hyouka/zaimu_2018.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.urawa.ac.jp/about/pdf/jikotennkenn.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.urawa.ac.jp/about/pdf/hyoukahoukoku.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	こども学部、総合福祉学部
教育研究上の目的（公表方法： http://www.urawa.ac.jp/about/policy.html#child-studies-policy ）	（概要） こども学部（こども学科） ：保育・幼児教育・福祉に関わる専門的知識及び技能・技術を基盤とする実践力を身につけ、資格・免許の取得を通じて、複雑化する現代のこどもをめぐる諸課題に対応できる人材の養成を目的とする。 こども学部（学校教育学科） ：小学校教諭免許状の取得を軸として、学齢児童の教育に従事するための高度な専門性と実践的指導力を身につけ、複雑化する現代のこどもと学校教育をめぐる諸課題に対応できる人材の養成を目的とする。 総合福祉学部 ：人間理解に基づき、広く福祉に関する専門的な学術理論と技能を修得するとともに、現代の多様化する福祉需要に対応するため、医療・保健・福祉の包括的連携を視野に入れた実務能力の高い総合福祉を担う人材を養成することを目的とし、福祉社会の充実と発展に貢献することを使命とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.urawa.ac.jp/about/policy.html ）	（概要） こども学部（こども学科） ：①人間、社会、自然の各分野に関する基礎的な知識と現代社会に対応した情報リテラシーを身につけるとともに、こどもに関する専門的知識を習得し、専門分野を生かした将来の職業生活に対して明確な目的意識を持って努力し、協調性ある社会人となる自覚を形成していること。 ②こどもの最善の利益を尊重する視点に立ち、こどもの心身や言動から発せられる表現を、先入観にとらわれることなく感受できる自由な心を有し、個々のこどもたちに信頼を育むよう態度を形成していること。 ③こどもの文化に関する基礎的な知識を習得し、保育、福祉、幼児教育の実践において役立つ多様な技能・技術を身につけ、それをこどもたちへの関わりに活かせるよう実践的学習を積んでいること。 ④家族、地域社会、そして現代社会との関係で、こどもを理解する視点を養い、幅広い人々の参加を促しながら地域社会の創造を促す重要性と、そのための実践のあり方について考え、判断し、基礎的なことがらを理解しようとしていること。 こども学部（学校教育学科） ：①人間・社会・自然の各分野に関する基礎的な知識と現代社会に対応した情報リテラシーを身につけるとともに、こどもに関する専門的知識を習得し、専門分野を生かした将来の職業生活に対して明確な目的意識を持って努力し、協調性ある社会人となる自覚を形成していること。 ②こどもの最善の利益を尊重する視点に立ち、こどもの心身や言動から発せられる表現・問いを先入観にとらわれることなく感受できる自由な心を有し、個々のこどもたちに信頼を育むよう態度を形成していること。 ③こどもの文化に関する基礎的な知識を習得し、小学校教育の実践において役立つ多様な技能・技術を身につけ、それをこどもたちへの関わりに活かせるよう実践的学習を積んでいること。 ④学校、家族、地域社会、そして現代社会との関係で、こどもを理解する視点を養い、幅広い人々の参加を促しながら地域社会の創造を促す重要性と、そのための実践のあり方について考え、判断し、基礎的なことがらを理解しようとしていること。 総合福祉学部 ：①人間や社会などに対する幅広い知識や理解とともに、コミュニケーション能力や情報処理等々の汎用的能力を持ち、利用者の多様な福祉ニーズに応えられる能力を修得していること。

- ②福祉の専門的知識及び援助技術を中心として、健康・運動分野、心理分野、経営・情報分野、にわたる幅広い知識を修得し、それらをマネジメントする能力を培い、総合的・包括的な福祉支援の実力を身につけていること。
- ③深い人間愛と強い使命感をもって福祉施設や地域社会で活躍することを通じて、福祉社会の充実と、福祉の利用者を含めたすべての人々がその個性に基づき共に創造する福祉の実践に、持続的に寄与できること。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：
<http://www.urawa.ac.jp/about/policy.html#child-studies-policy>）

（概要）

- こども学部（こども学科）**：①基礎的教養を学ぶための「人間総合科目」、こども理解を包括的に学ぶ「こども総合科目」、専門分野について総合的に理解するための「こども専門科目」に大別し、学位授与の方針と整合性を保つよう編成する。
- ②将来を意識したキャリア教育の授業科目を2年次から体系的に配置し、実習教育やインターンシップと関連づけながら社会人としての基礎的能力を高める。
  - ③こどもについての総合的な理解を促す「こども総合」の科目群を設け、その学修を通じて、こどもの権利、こども理解、こどもの表現と文化、家族現代社会、学校教育などの現状と課題を幅広く学ぶ授業科目を配置する。
  - ④学内の親子のひろば「ぽっけ」を活用した学習を、授業科目に最大限に取り入れ、1年次から4年次まで常に地域社会と連携して実践的に学べるよう編成する。
  - ⑤こどもの成長発達にふさわしい知識をより实际的に身につけるよう、学内の自然環境を十分に活用した授業内容を含む授業科目を配置する。
  - ⑥保育士・幼稚園教諭に必要とされる多様な技能、技術を身につけ、実践できるよう幅広い演習科目を配置し、現場実習でその学習成果を総合的に活用する。
  - ⑦社会人として通用する情報機器の操作技能を身につけ、必要な情報収集選択と活用を通じて自らの疑問や課題を探求し、卒業研究に論文等をまとめて成果を発表する。
- こども学部（学校教育学科）**：①基礎的教養を学ぶための「人間総合科目」、こども理解を包括的に学ぶ「こども総合科目」、専門分野について総合的に理解するための「教育専門科目」に大別し、学位授与の方針と整合性を保つよう編成する。
- ②初年次教育を1、2年次にわたって展開し、大学生としての学びの技術、学修の姿勢と意欲を形成する。
  - ③将来を意識したキャリア教育の授業科目を2年次から体系的に配置し、教育実習やインターンシップなどと関連付けながら社会人としての基礎的な能力と実践力を高める。
  - ④こどもについての総合的な理解を促す「こども総合科目」の学修を通じて、こどもの権利、こども理解、こどもの表現と文化、家族・現代社会、学校教育などの現状と課題を幅広く学ぶ授業科目を配置する。
  - ⑤様々な形態の現場実習を伴う授業科目の履修を通して、1年次から4年次まで常に地域社会と連携して実践的な学びができるよう編成する。
  - ⑥こどもの成長・発達にふさわしい知識をより实际的に身につけるよう、学内外の自然環境やキャンパスの施設を十分に活用した授業内容を含む授業科目を配置する。
  - ⑦小学校教師として必要とされる専門的知識、多様な技能・技術を身につけ、実践できるよう幅広い専門科目を配置し、現場実習でその学修成果を総合的に活用する。
  - ⑧小学校教師として通用する情報機器の操作技能を身につけ、必要な情報収集・選択と活用を通じて自らの疑問や課題を探求し、卒業研究に結実する成果につなげられるようにする。
- 総合福祉学部**：①授業科目を「人間総合科目群」（教養科目）と「総合福祉科目群」（専門科目）に大別し、それぞれの科目群をさらに複数の分野に分け、学部の学位授与の方針と整合性・一貫性を保つよう編成する。
- ②学位授与の方針と各コースの目的にそって、各専門科目は、それぞれの学習成果を考

慮して、順次性及び体系性をもって配置する。   ③豊かな人間性や問題探求能力の涵養及び生涯を通じた持続的な就業力の育成については、1～4年次のゼミ教育を中心に、演習・実習等の実践的な授業科目を数多く開設する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：http://www.urawa.ac.jp/about/policy.html）
（概要）   浦和大学の建学の精神や教育目的に理解と共感をもっている人で、次のような人を受け入れる。   ①幅広い知識・理解や汎用的技能などを修得することに積極的な人。   ②実践的な学修などを通して、専門的な知識・技術や創造的な思考力を身につけることに意欲的な人。   ③基礎的な学習能力や生活態度を身につけていて、更に高めようとする人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：http://www.urawa.ac.jp/about/information.html#section6

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
こども学部	—	12人	4人	4人	人	人	20人
総合福祉学部	—	5人	4人	3人	人	人	12人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
1人			75人				76人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： http://www.urawa.ac.jp/course/teachers.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
総合福祉学部	70人	62人	88.6%	310人	160人	51.6%	若干人	5人
こども学部	130人	109人	83.8%	490人	363人	74.1%	若干人	人
合計	200人	171人	85.5%	800人	523人	65.4%	人	5人
(備考)								
b. 卒業生数、進学者数、就職者数								
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他				
総合福祉学部	39人 (100%)	0人 (0.0%)	35人 (89.7%)	4人 (10.3%)				
こども学部	74人 (100%)	0人 (0.0%)	69人 (93.2%)	5人 (6.8%)				
合計	113人 (100%)	0人 (0.0%)	104人 (92.0%)	9人 (8.0%)				
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 保育園、幼稚園、障がい者施設、高齢者施設等大学での学び・資格を活かした就職先に約65%のものが就職している。併せて、埼玉県・東京都への就職が多いのが特徴である。								
(備考)								
c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)								
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他			
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)			
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)			
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)			
(備考)								

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
授業科目について重要なことは、シラバスに記載されている。すなわち、各授業科目のシラバスには、①授業の方法及び内容、②授業計画(スケジュール)、③到達目標、④成績評価の方法・基準、⑤実務経験の有無などが、記載されている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
単位の授与又は履修の認定については、各教員は、あらかじめシラバスの成績評価の欄に記載した方法・基準に従い、①学修意欲の把握、②試験やレポート、③卒業論文などによって、各学生の学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位授与又は履修認定をしている。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
こども学部	こども学科	126 単位	①・無	48 単位
	学校教育学科	126 単位	①・無	48 単位
総合福祉学部	総合福祉学科	124 単位	①・無	48 単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <http://www.urawa.ac.jp/campuslife/campusmap.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
こども 学部	こども 学科	700,000 円	300,000 円	430,000 円	
	学校教育 学科	700,000 円	300,000 円	430,000 円	
総合福祉 学部	総合福祉 学科	700,000 円	300,000 円	500,000 円	
	—	円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 令和元年度より本学独自の修学支援として、授業料・施設設備費について減免(50%)を実施している。遠隔地出身学生への家賃補助制度、私費留学生対象授業料減免、九里総一郎記念奨学金、小学校教諭就職者を対象として特別奨学金(学習奨励費)、通学定期代の一部補助制度等の多様な修学支援制度を用意している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリアガイダンスを必須講座として半期に一度開催。就職支援セミナーとして、①キャリアプランニングセミナー、②カルチュラルクラス(プロの仕事を学ぶ講座)、③公務員試験対策講座等を実施し、低学年より進路選択について考えるプログラムを複数用意。また、学生の適性を理解するようキャリアガイダンス内にて適性検査を実施。埼玉労働局・ハローワーク浦和、就職支援企業との連絡協議を適宜行い、学内指導でも具体的な支援を受けている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 看護師の資格を持つ常勤が、定期健康診断やけが等の応急処置、健康相談等に対応している。また、学生相談室は、学年暦の授業期間にあわせ、毎週木曜日 9:00~18:00、臨床心理士の資格を持つ職員が学生の心理的、精神的な相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： http://www.urawa.ac.jp/about/information.html#section6